

# FUJIFILM

## instax mini Evo

### HYBRID INSTANT CAMERA

[INSTANT PRINT + DIGITAL TECHNOLOGIES]

#### 使用説明書(詳細)



- この使用説明書(詳細)は、ファームウェアのバージョンVer.1.01に対応しています。ファームウェアのバージョンにより、機能や画面が説明と異なることがあります。
- ファームウェアをバージョンアップする方法は2通りあります。詳しくは [バージョンアップ] を参照してください。(p.22)

## 目次

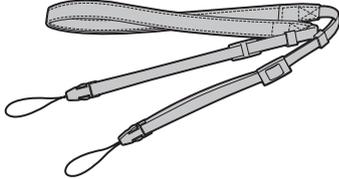
カメラをお使いになる前に.....	3	いろいろな撮影.....	17
カメラを廃棄するときの注意.....	3	画像の明るさを変えて撮影する.....	17
このカメラについて.....	3	セルフタイマーを使用して撮影する.....	17
このカメラの特長.....	3	フラッシュを使用して撮影する.....	18
スマートフォンアプリと連携すると使える機能.....	3	マクロ撮影する.....	18
各部の名称.....	4	光源に合わせて撮影する.....	19
液晶モニターの表示.....	6	自分自身を撮影する（セルフイー）.....	19
セレクトボタンの使い方.....	7	AF/AE ロックを使用して撮影する.....	20
ショルダーストラップを取り付ける.....	7	プリント履歴からプリントする.....	20
充電する.....	8	メモリーカードを使用する.....	21
充電状態の表示について.....	8	メモリーカードを入れる.....	21
電源を入れる／切る.....	8	撮影メニューを使用する.....	22
バッテリー残量の確認方法.....	9	再生メニューを使用する.....	23
初期設定を行う.....	9	スマートフォンアプリ連携で使える機能.....	24
フィルムパックを入れる／取り出す.....	11	ダイレクトプリント機能.....	24
フィルムパックを入れる.....	11	リモートシューティング機能.....	24
フィルムパックを取り出す.....	12	プリント画像保存機能.....	24
基本的な撮影と再生.....	12	仕様.....	24
撮影する.....	12	このようなときは.....	25
撮影した画像を再生する.....	13	安全にご使用いただくために.....	26
再生画面の表示を変更する.....	13	取扱上のお願ひ.....	27
プリントする.....	14	Bluetooth® 機器使用上の注意事項.....	28
フィルム残量表示について.....	15	アフターサービスについて.....	29
エフェクトを加えて撮影する.....	15	個人情報情報の取扱について.....	29
レンズエフェクトを選ぶ.....	15		
フィルムエフェクトを選ぶ.....	16		
エフェクトの組み合わせを割り当てる.....	16		
エフェクトの組み合わせを登録する.....	16		
お気に入りのエフェクトを呼び出す.....	16		

## カメラをお使いになる前に

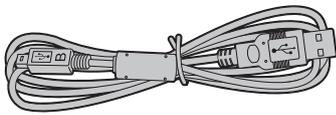
カメラをお使いになる前に、以下を確認してください。

### 付属品一覧

- ・ショルダーストラップ(1本)



- ・専用USBケーブル(1本)



- ・使用説明書(本書)

- ・ショルダーストラップは肩に掛けて使用し、首には掛けないでください。
- ・ショルダーストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。
- ・工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。ご使用になる前に必ず充電してください。

## カメラを廃棄するときの注意

この製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクルできます。

一般ゴミなどと一緒に廃棄はしないでください。

本機が不要となりましたら、電池の取り外しはお客様自身では行わず、「お客様相談窓口」にご相談ください。(p.30)

### ■小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどをはるか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収BOXに入れてください。詳細は、「一般社団法人JBRC」のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.com/>

## このカメラについて

### このカメラの特長

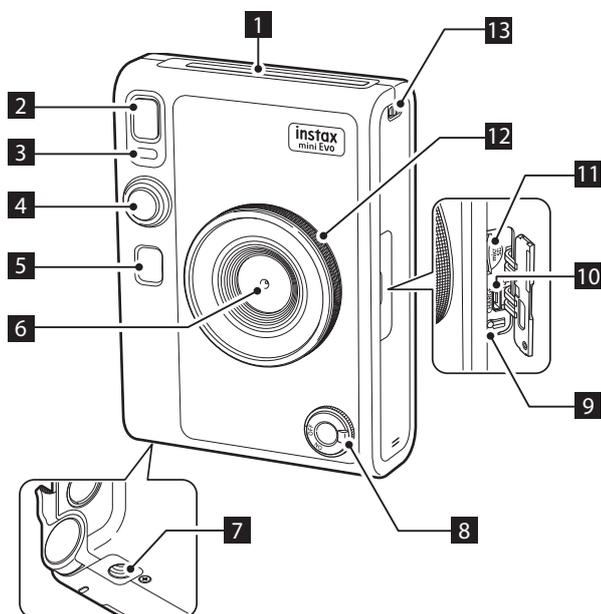
- instax 史上最高画質。(\*2021年12月時点)
- レンズエフェクト10種、フィルムエフェクト10種を搭載した100通りの多彩な表現力。
- 液晶モニターを見ながら撮影し、本体またはマイクロSDカードへ保存可能。
- 撮影した画像を選んで instax プリントに出力可能。
- 高級感あるクラシックなデザイン。
- レンズダイヤル、フィルムダイヤル、プリントレバーでのアナログ感ある操作性。
- 自分撮りがしやすいセルフミラー搭載。

### スマートフォンアプリと連携すると使える機能

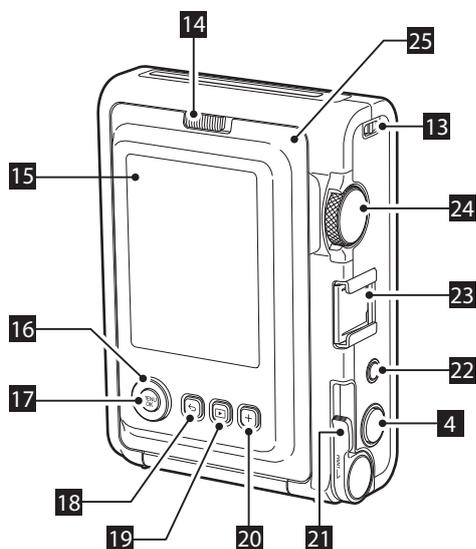
- **ダイレクトプリント機能**  
スマートフォン内の画像をカメラ本体に送信して instax プリントにすることができます。送信前に、スマートフォンアプリで画像の移動や回転、拡大縮小ができます。
- **リモートシューティング機能**  
スマートフォンを操作して、カメラ本体で撮影することができます。
- **プリント画像保存機能**  
カメラでプリントした画像をスマートフォンアプリに送信すると、スマートフォン内に instax フレーム付き画像として保存できます。

## 各部の名称

### 前面



### 背面



#### 1 フィルム排出口

プリント時に露光されたフィルムが出てきます。

#### 2 フラッシュ

設定に応じてフラッシュが発光します。フラッシュを発光しない設定にもできます。

#### 3 セルフトイマーランプ / 充電ランプ

セルフトイマーを使用して撮影するとき点滅します。また、充電中に点灯し、充電が完了すると消灯します。

#### 4 シャッターボタン

シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせます。半押ししたままさらに深く押し込むと、カメラのシャッターが切れて写真が撮れます。また、再生モード時にシャッターボタンを押すと、撮影モードに切り替わります。

#### 5 セルフィーミラー

セルフィーミラーに自分自身を写し、構図を確認して撮影できます。

#### 6 レンズ

カメラの撮影用レンズです。撮影するときはレンズに指などが掛からないようにしてください。

#### 7 三脚穴

三脚を固定するためのネジ穴です。

#### 8 電源スイッチ

電源スイッチを時計回りに回すと電源が入ります。反時計回りに回すと電源が切れます。

#### 9 リセットボタン\*1

カメラが正常に動作しない場合に押し、強制的に電源が切れます。リセットボタンを押したときは、電源スイッチを OFF にしてから再度 ON にして、カメラを起動してください。カメラが正常に動作しているときに使用しないでください。撮影データが失われる場合があります。

#### 10 USB 端子 (マイクロ USB Micro-B)

充電を行うための USB 端子です。USB 端子を使用したデータ転送はできません。

#### 11 マイクロ SD カードスロット

マイクロ SD カードの挿入口です。

\*1 カメラが正常に動作しない場合は、リセットボタンを押してカメラをリセットしてください。

**12 レンズダイヤル \*2**

レンズダイヤルを回して 10 種類のレンズエフェクトを切り替えます。

**13 ストラップフック**

ストラップの紐を通してストラップを取り付けます。

**14 フィルムドアロック**

フィルムドアロックをスライドするとロックが外れ、フィルムドアを持ち上げることができます。

**15 液晶モニター**

撮影時および撮影した画像を液晶モニターで確認できます。また、操作に応じたメニューが表示されます。

**16 セレクトボタン (◀▶▶▶▶)**

液晶モニターに表示されたメニューの項目を選んだり、機能を使用したりできます。

**17 MENU/OK ボタン**

撮影時や再生時に MENU/OK ボタンを押すと、液晶モニターにメニューが表示されます。また、メニューの項目を決定するときに押します。

**18 ↶ (戻る) ボタン**

液晶モニターに表示中のメニューからひとつ前の表示画面へ戻るときに押します。また、画像のプリントをキャンセルするときに押します。

**19 ▶ (再生) ボタン**

撮影した画像を液晶モニターに表示するときに押します。また、撮影モード時に ▶ (再生) ボタンを押すと、再生モードに切り替わります。

**20 + (ファンクション) ボタン**

撮影モード時に押すと使用しているエフェクトを液晶モニターで確認できます。エフェクトの登録や呼び出しもできます。

**21 プリントレバー**

液晶モニターに表示されている画像をプリントします。

**22 エフェクトリセットボタン**

レンズエフェクトとフィルムエフェクトのいずれもノーマルに戻します。

**23 アクセサリーシュー**

カメラアクセサリーの取り付け口です。

**24 フィルムダイヤル \*3**

フィルムダイヤルを回して 10 種類のフィルムエフェクトを切り替えます。

**25 フィルムドア**

フィルムパック出し入れ時はフィルムドアロックをスライドしてロックを外し、フィルムドアを持ち上げます。フィルムを使いきるまではフィルムドアを開けないでください。

\*2 レンズエフェクトはデジタルで処理されます。

\*3 フィルムエフェクトはデジタルで処理されます。

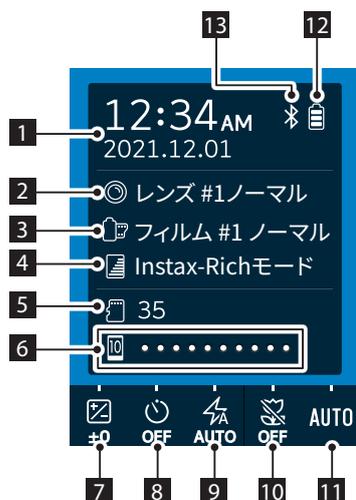
## 液晶モニターの表示

電源を入れると液晶モニターに撮影画面が表示されます。

- 撮影画面から再生画面へ切り替えるには (再生) を押し  
てください。
- 再生画面から撮影画面へ切り替えるにはシャッターボタン  
を全押ししてください。

撮影画面、再生画面を表示中に (戻る) を押すと、液晶モ  
ニターに以下の情報が表示されます。撮影画面、再生画面に戻  
るにはもう一度 (戻る) を押ししてください。

### 撮影画面



### 再生画面

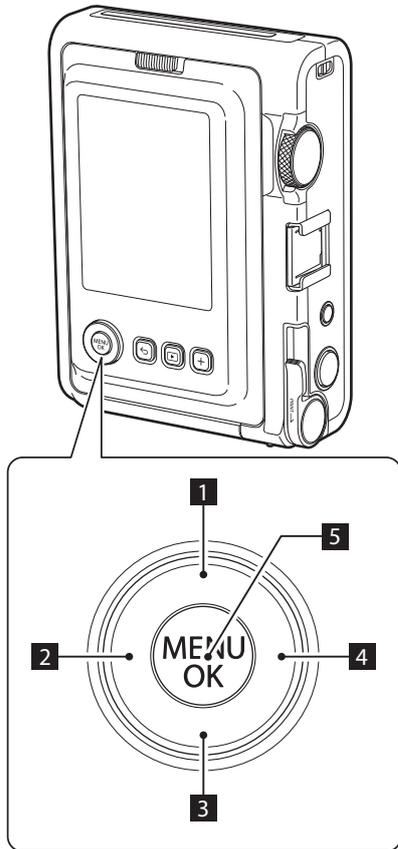


- 1 現在の日付・時刻
- 2 レンズエフェクト
- 3 フィルムエフェクト
- 4 プリント画質
- 5 撮影可能枚数 \*4
- 6 フィルム残量表示
- 7 露出補正
- 8 セルフタイマー
- 9 フラッシュ
- 10 マクロ
- 11 ホワイトバランス
- 12 バッテリー残量表示
- 13 Bluetooth 接続状態表示
- 14 コマ No.
- 15 撮影日・時刻

\*4 内蔵メモリーを使用しているときは、 (カメラ) が表示  
されます。撮影可能枚数が 10 枚以下になると、アイコン  
が赤く表示されます。メモリーカードを使用しているとき  
は、 (メモリーカード) が表示されます。

## セレクトボタンの使い方

▲▼◀▶（上下左右）キーは、メニュー項目などの選択やⓂキーに割り当てられた機能の呼び出しに使用します。[MENU/OK] ボタンは、メニューの表示や選択の決定に使用します。

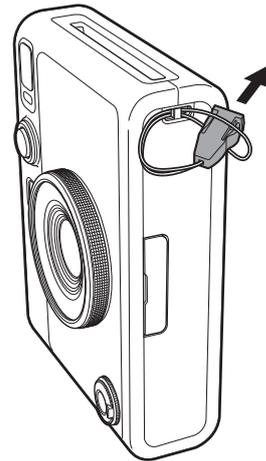


- 1 ▲（上）に移動します。
- 2 ◀（左）に移動します。
- 3 ▼（下）に移動します。
- 4 ▶（右）に移動します。
- 5 メニューの表示／選択を決定します。

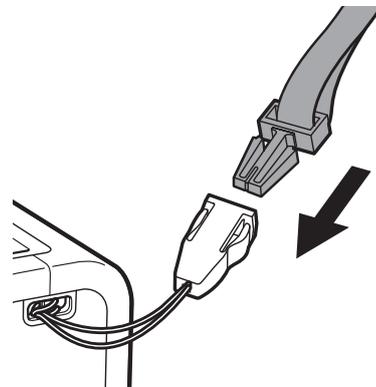
## ショルダーストラップを取り付ける

以下の手順でショルダーストラップをカメラ本体に取り付けます。

- 1 ショルダーストラップの先端部分をカメラのストラップフックに通す



- 2 ストラップの先端部分にストラップ本体を取り付ける

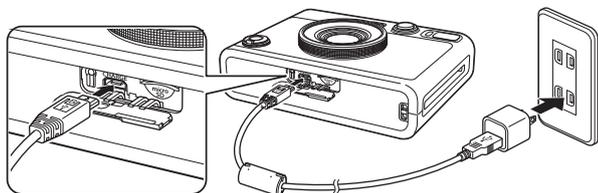


- 3 反対側も同様に取り付ける

- ショルダーストラップは肩に掛けて使用し、首には掛けしないでください。
- ショルダーストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

## 充電する

- ❶ 充電をするときは電源を切ってください。電源が入った状態では充電されません。
- ❷ USB ケーブルの端子の向きに注意してください。



カメラとご使用のスマートフォンなどの USB 電源アダプタを、付属の USB ケーブルで接続し、USB 電源アダプタを屋内のコンセントにつなぎます。

充電時間の目安は約 2 ～ 3 時間です。

## 充電状態の表示について

充電中	セルフタイマーランプが点灯します。
充電完了	セルフタイマーランプが消灯します。
充電エラー	セルフタイマーランプが点滅します。

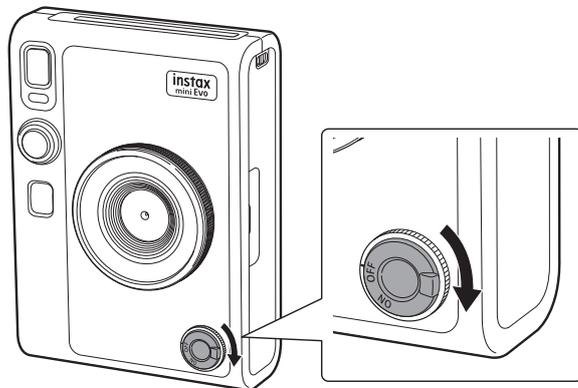
### PC から充電するときは：

- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラと PC を接続してください。
- 充電中に PC が休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、PC の休止状態（スリープ状態）を解除した後、USB ケーブルを接続し直してください。
- PC の仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

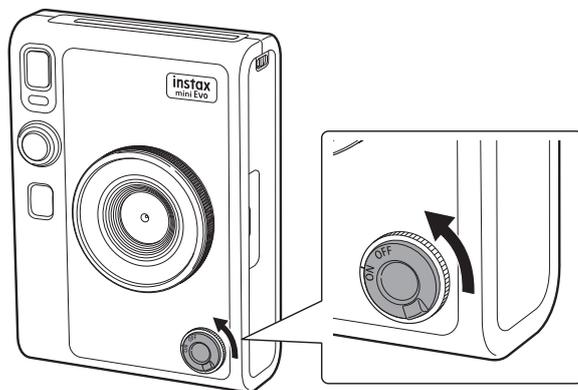
- バッテリーを取り外すことはできません。
- 工場出荷時にバッテリーはフル充電されていません。ご使用になる前に必ず充電してください。
- バッテリーについてのご注意は「取扱上のお願い」を参照してください。(p.27)

## 電源を入れる／切る

電源スイッチを ON にして、電源を入れます。



電源スイッチを OFF にして、電源を切ります。



- 一定時間操作を行わなかった場合、カメラの電源が自動的に切れます。カメラの電源が自動的に切れたときは、電源スイッチを OFF にしてから再度 ON にすると、電源が入ります。
- 電源が切れるまでの時間を設定することもできます。(p.22)

## バッテリー残量の確認方法

撮影画面または再生画面で $\leftarrow$ （戻る）を押すと、液晶モニターにバッテリー残量が表示されます。

表示	バッテリーの残量
	残量が十分にあります。
	残量が半分以下です。充電することをお勧めします。
	残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。

- バッテリー残量が不足すると、液晶モニターの右下にもアイコン（）が表示されます。
- バッテリー残量が完全になくなると、液晶モニター中央にアイコン（）が表示され、電源が切れます。

撮影画面、再生画面に戻るにはもう一度 $\leftarrow$ （戻る）を押してください。

## 初期設定を行う

ご購入後初めて電源を入れると、使用する言語や日時、スマートフォンとのペアリングを設定する画面が自動で表示されます。

ペアリング登録する前に、ご使用のスマートフォンに「instax mini Evo」アプリをインストールしてください。

- Android OS のスマートフォンをご使用の場合は、Google Play から「instax mini Evo」を検索し、インストールしてください。

\*Android OS のスマートフォンの動作環境：Android Ver 7 以上、かつ Google Play がインストールされている

- iOS のスマートフォンをご使用の場合は、App Store から「instax mini Evo」を検索し、インストールしてください。

\*iOS のスマートフォンの動作環境：iOS Ver 12 以上  
スマートフォンの機種によっては、スマートフォンアプリをインストールし、上記の動作環境を満たしている場合でも、使用できない場合があります。

この設定は後から設定することもできます。後から設定する場合や設定をやり直したい場合は、セットアップメニューの [言語 / LANG.]、[日時設定]、[Bluetooth 設定]、から設定してください。

### 1 電源を入れる

- ご購入後に初めて電源を入れたときは、言語設定画面が表示されます。

### 2 使用する言語を選び、[MENU/OK] を押す



3 年月日の並び順を設定し、[MENU/OK] を押す



4 年、月、日、時、分を設定し、[MENU/OK] を押す

- ◀▶で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、⬇️で設定する数字を選びます。



続けてペアリング設定を行います。

5 [MENU/OK] を押す



- ・ペアリング設定を行わない場合は、⬅️（戻る）を押して、初期設定を終了してください。

6 スマートフォンアプリ「instax mini Evo」を起動して [SETTINGS] をタップする



7 スマートフォンアプリの [Bluetooth 設定] をタップする



## 8 スマートフォンアプリの [ 接続 ] をタップする



- ・カメラの本体名称を確認するには撮影メニューを表示してください。(p.22) 続けて [Bluetooth 設定]、[情報表示]、[本体名称] の順に選んでください。

## 9 ペアリングを許可する

## 10 ペアリング登録が完了したのを確認する

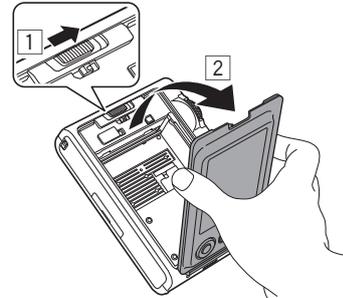


ペアリング登録が完了し、撮影画面に切り替わります。

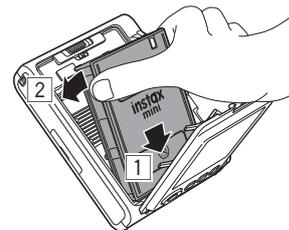
## フィルムパックを入れる／取り出す

### フィルムパックを入れる

- 1 フィルムドアロックをスライドさせてロックを外し、フィルムドアを持ち上げる



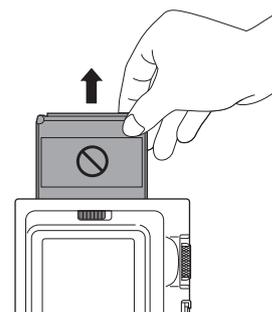
- 2 フィルムパックの黄色のマークとカメラ内部の黄色のマークを合わせ、フィルムパックを入れる



- 3 フィルムドアを閉じる

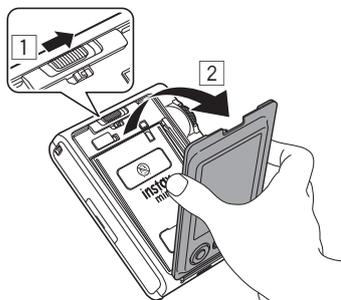


- 4 自動的に排出される黒いフィルムカバーを取り除く

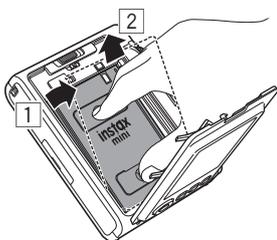


## フィルムパックを取り出す

- 1 フィルムドアロックをスライドさせてロックを外し、フィルムドアを持ち上げる



- 2 フィルムパックの穴をつまみ、フィルムパックを取り出す

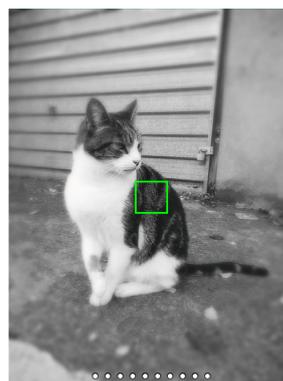


## 基本的な撮影と再生

### 撮影する

基本的な撮影手順を説明します。

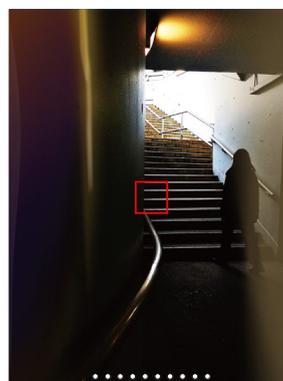
- 1 電源を入れる
- 2 カメラを構える
- 3 必要に応じてエフェクトなどの設定をする
- 4 構図を決める  
☺または☻を押して構図を調節します。☺を押すと、遠くの被写体を大きく写し、☻を押すと広い範囲が写ります。
- 5 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる  
ピントが合ったとき



ピピッと音が鳴り緑色の AF フレームが液晶モニターに表示されます。

[顔検出] が有効のときは、カメラが人物の顔を認識すると、顔の上に緑色の AF フレームが表示されます。(p.22)

### ピントが合わないとき



赤色の AF フレームが液晶モニターに表示されます。構図を変えるか、AF/AE ロックを使用してください。(p.20)

## 6 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

写真が撮影され、画像が内蔵メモリー、またはメモリーカードに保存されます。

- ・撮影した画像をプリントする手順は、「プリントする」を参照してください。(p.14)

- ・撮影するときは脇を締め、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- ・シャッターボタンを押すときは、カメラレンズに触れないように注意してください。
- ・シャッターボタンを全押しするときは、カメラが動いて手ブレが起きないように、静かに押し込んでください。
- ・指やショルダーストラップがフラッシュ、レンズに掛からないように注意してください。
- ・暗い場所または逆光時は、シャッターボタンを全押ししたときにフラッシュが発光することがあります。フラッシュが発光しないように、フラッシュの設定を変更できます。(p.18)

### 内蔵メモリーについての注意

- ・内蔵メモリーがいっぱいになると、シャッターが切れず、撮影ができません。画像を削除するか、メモリーカードを使用してください。
- ・内蔵メモリー内の画像は、カメラ本体の故障などによりデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
- ・大切な画像は別のメディア（ハードディスク、CD-R、CD-RW、DVD-R など）にコピーして、バックアップ保存されることをお勧めします。
- ・カメラを修理にお出しになった場合、内蔵メモリー内のデータについては保証できません。
- ・カメラ修理の際、内蔵メモリー内のデータを確認させていただく場合があります。

### 撮影した画像を再生する

撮影した画像を液晶モニターで再生できます。

#### 1 電源を入れる

#### 2 再生ボタンを押す

最後に撮影した画像が表示されます。

#### 3 再生ボタンを押して、表示したい画像を選ぶ

- ・シャッターボタンを全押しすると、撮影画面に戻ります。

### 再生画面の表示を変更する

画像を拡大して表示したり、液晶モニターに表示する画像のコマ数を変更したりすることができます。

#### ■画像を拡大して表示する

##### 1 再生ボタンを押して、表示したい画像を選ぶ

##### 2 再生ボタンを押す

拡大縮小画面が表示されます。



##### 3 再生ボタンを押して、表示したい画像を選ぶ



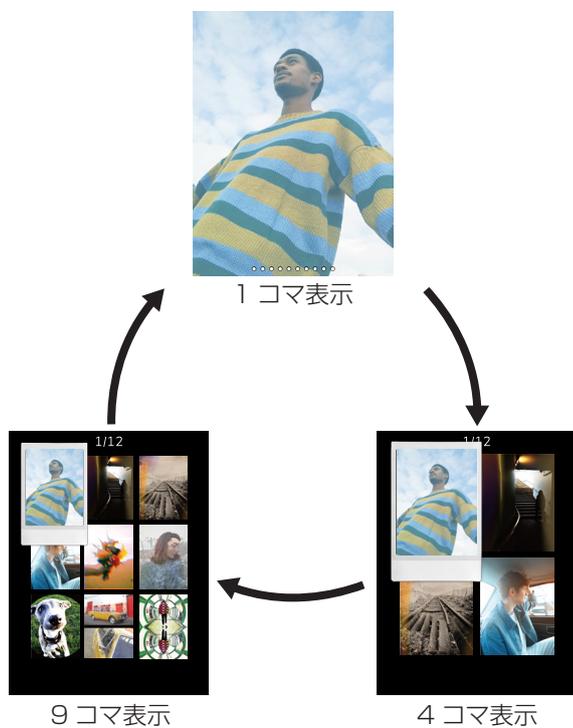
- ・拡大縮小画面で再生ボタンを押すと、移動画面に切り替わり、再生ボタンで画面位置を移動できます。拡大縮小画面に戻るには再生ボタンを押します。

##### 4 [MENU/OK] を押す

- ・画像を拡大、または縮小した状態でプリントすることもできます。

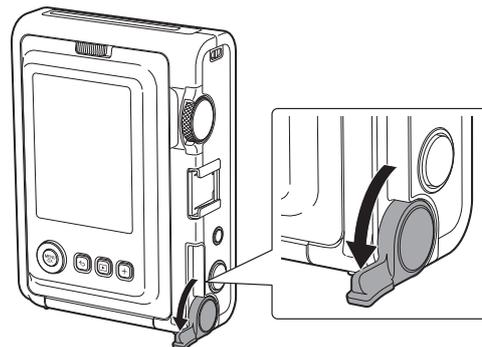
## ■表示する画像のコマ数を変更する

再生画面を表示中に▶（再生）を押すと、表示する画像のコマ数を変更することができます。

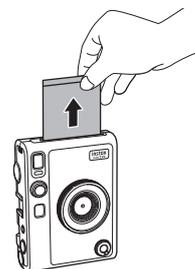


## プリントする

- 1 再生（再生）ボタンを押す
- 2 セレクトボタンの◀または▶を押して、プリントしたい画像を選ぶ
- 3 必要に応じて、拡大などの設定をする
- 4 プリントレバーを回す



- 5 フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す



指やショルダーストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

## フィルム残量表示について

フィルム残量は画面下の白いドットで表示されます。プリントが1枚終了するごとに、ドットが1つずつグレーのドットになります。フィルム残量が2枚になると、ドットが赤く表示されます。



### 残り 10 枚の表示



### 残り 2 枚の表示



### 残り 0 枚の表示



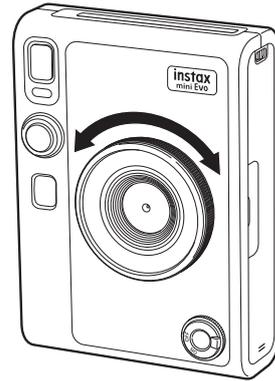
- フィルムの取り扱いについては、富士フィルム インスタントフィルム "instax mini" の取扱説明を参照してください。
- フィルムの現像時間は約 90 秒です (気温によって時間は変動します)。

## エフェクトを加えて撮影する

### レンズエフェクトを選ぶ

以下の手順でレンズエフェクトの種類を選びます。

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 レンズダイヤルを回して、レンズエフェクトの種類を選ぶ



以下のガイドが表示されます。



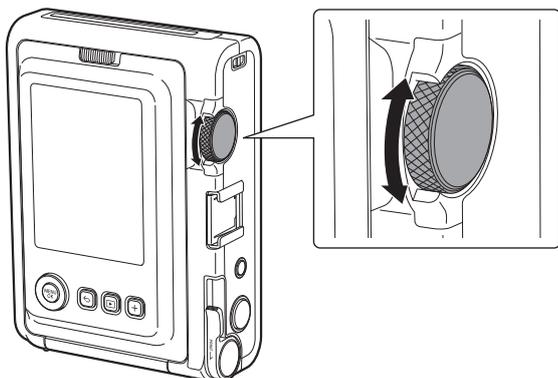
- 設定したレンズエフェクトを解除するにはレンズエフェクトの種類から [ノーマル] を選びます。
- エフェクトリセットボタンを押すと、設定したレンズエフェクトとフィルムエフェクトが解除されます。

+ (ファンクション) ボタンを押して、登録したお気に入りのレンズエフェクトとフィルムエフェクトを呼び出すこともできます。

## フィルムエフェクトを選ぶ

以下の手順でフィルムエフェクトの種類を選びます。

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 フィルムダイヤルを回して、フィルムエフェクトの種類を選ぶ



以下のガイドが表示されます。



- 設定したフィルムエフェクトを解除するにはフィルムエフェクトの種類から [ノーマル] を選びます。
- エフェクトリセットボタンを押すと、設定したレンズエフェクトとフィルムエフェクトが解除されます。

+ (ファンクション) ボタンを押して、登録したお気に入りのレンズエフェクトとフィルムエフェクトを呼び出すこともできます。

## エフェクトの組み合わせを割り当てる

お気に入りのエフェクトの組み合わせを登録することができます。登録したエフェクトの組み合わせは、+ (ファンクション) ボタンを押すと呼び出すことができます。

### エフェクトの組み合わせを登録する

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 レンズダイヤルを回して、レンズエフェクトの種類を選ぶ
- 3 フィルムダイヤルを回して、フィルムエフェクトの種類を選ぶ
- 4 + (ファンクション) ボタンを押す
- 5 [MENU/OK] を押す
- 6 ◀または▶を押して、お気に入り [1] からお気に入り [3] のいずれかを選ぶ  
エフェクトの組み合わせは最大3つ登録できます。
- 7 [MENU/OK] を押す  
エフェクトが登録されます。

### お気に入りのエフェクトを呼び出す

- 1 撮影画面を表示させる
- 2 + (ファンクション) ボタンを2回押す
- 3 ◀または▶を押して、お気に入り [1] からお気に入り [3] のいずれかを選ぶ
- 4 [MENU/OK] を押す  
エフェクトが反映されます。

## いろいろな撮影

### 画像の明るさを変えて撮影する

画像の明るさを調整します。被写体が明るすぎたり、暗すぎたり、被写体と背景のコントラスト（明暗の差）が大きい場合に使用します。

- 1 撮影画面で【露出補正】が表示されるまで、**☑**または**☑**を押す



- 2 **☑**または**☑**を押して、露出を補正する
  - **☑**を押すと+側に露出が補正され、画像全体を明るくできます。
  - **☑**を押すと-側に露出が補正され、画像全体を暗くできます。
- 3 シャッターボタンを全押しする

### セルフタイマーを使用して撮影する

撮影者を含めた集合写真を撮影するときや、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐために使用します。

- 1 撮影画面で【セルフタイマー】が表示されるまで、**⏸**または**⏸**を押す



- 2 **⏸**または**⏸**を押して [2 秒]、または [10 秒] を選ぶ
 

設定したセルフタイマーに応じたアイコンが画面中央に表示されます。

  - セルフタイマーを設定しない場合は [OFF] を選びます。
- 3 シャッターボタンを全押しする
 

カウントダウンが始まります。

**[2 秒] を選んだ場合：**  
シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅します。

**[10 秒] を選んだ場合：**  
シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点灯し、撮影の 3 秒前から点滅します。

セルフタイマーを途中でキャンセルするには、**⏪**（戻る）を押します。

## フラッシュを使用して撮影する

夜や暗い室内などで撮影をするときは、フラッシュを使用して撮影してください。フラッシュが発光しないように設定することもできます。

- 1 撮影画面で【フラッシュ】が表示されるまで、**☑**または**☑**を押す



- 2 **☑**または**☑**を押してフラッシュの設定を選ぶ
  - ・フラッシュの設定の詳細は「フラッシュの種類」を参照してください。

- 3 シャッターボタンを全押しする

・フラッシュの充電中にシャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅し、シャッターが切れません。

### ■フラッシュの種類

#### ☑オートフラッシュ

周囲が暗い場合は、自動でフラッシュが発光します。ほとんどの状況に適した設定です。

#### ☑強制発光

周囲の明るさに関わらず、フラッシュが発光します。逆光で被写体が暗くなっているときに使用します。

#### ☑発光禁止

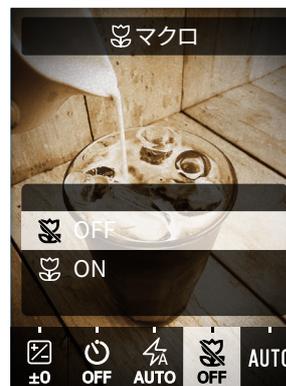
周囲が暗いときでも、フラッシュを発光しません。フラッシュ撮影が禁止されている場所などでの撮影に適しています。

フラッシュを使用せずに暗いところで撮影する場合は、カメラをテーブルなどに固定して撮影することをお勧めします。

## マクロ撮影する

被写体に近づいて撮影をするときは、マクロ撮影してください。

- 1 撮影画面で【マクロ】が表示されるまで、**☑**または**☑**を押す



- 2 **☑**または**☑**を押して【ON】を選ぶ
- 3 シャッターボタンを全押しする  
マクロ撮影されます。

## 光源に合わせて撮影する

太陽光や照明などの光源に合わせてホワイトバランスを設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

- 1 撮影画面で[ホワイトバランス]が表示されるまで、またはを押す



- 2 またはを押して、いずれかの設定を選ぶ

・ホワイトバランスの設定の詳細は「ホワイトバランスの種類」を参照してください。

- 3 シャッターボタンを全押しする

### ■ ホワイトバランスの種類

#### AUTO

カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、AUTOをおすすめします。

#### 晴

晴天の屋外での撮影用です。

#### 日陰

曇天や日陰などでの撮影用です。

#### 蛍光灯 1

昼光色蛍光灯の下での撮影用です。

#### 蛍光灯 2

昼白色蛍光灯の下での撮影用です。

#### 蛍光灯 3

白色蛍光灯の下での撮影用です。

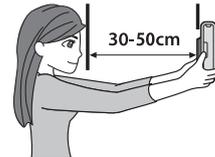
#### 電球

電球、白熱灯の下での撮影用です。

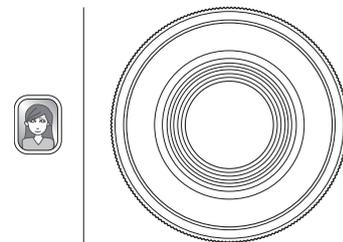
## 自分自身を撮影する（セルフイー）

セルフイーミラーを使用して、自分自身を撮影することができます。

- 1 しっかりとカメラを持って、レンズの先から30cm～50cmになるように構える
  - ・暗い所では特に手ブレしやすいので、カメラをしっかりと持ってください。



- 2 セルフイーミラーで構図を確認し、撮影する



・撮影時にはフラッシュを見つめないでください。フラッシュの残像で、一時的に目が見えにくくなる場合があります。

## AF/AE ロックを使用して撮影する

撮影するときに、シャッターボタンを半押しし続けてピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。被写体を画面の中央以外に配置して撮影したいときに便利です。

- 1 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントを合わせる  
シャッターボタンを半押しすると、AF と AE がロックされます。
- 2 シャッターボタンを半押ししたまま構図を変える
- 3 シャッターボタンを全押しして、撮影する

以下の被写体を撮影するときは、ピントが合いにくくなる場合がありますので、AE/AF ロックを使用して撮影することをお勧めします。

- 鏡や車のボディなど光沢のある被写体
- 高速で移動する被写体
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収する被写体
- 煙や炎などの実体のない被写体
- 背景との明暗差が少ない被写体（背景と同色の服を着ている人物など）
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前後に被写体がある場合（コントラストの強い背景の前の被写体など）

## プリント履歴からプリントする

過去にプリントした画像を呼び出して、そのときの設定（画像エフェクトなど）を保持してプリントすることができます。撮影した画像は、以下の手順でプリントできます。

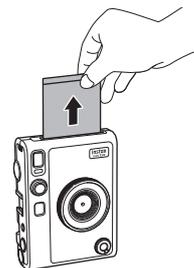
- 1 再生画面で、[MENU/OK] を押す  
再生メニューが表示されます。
- 2 ◀または▶を押して、[プリント履歴] を選ぶ
- 3 [MENU/OK] を押す
- 4 ◀または▶を押して、プリントしたい画像を選ぶ



- 5 プリントレバーを回す  
プリントが始まります。

プリントを途中でキャンセルするには、↶（戻る）を押します。

- 6 フィルムを排出する音が止まってから、送り出されたフィルムの先端を持って取り出す



指やショルダーストラップがフィルム排出口に掛からないように注意してください。

## メモリーカードを使用する

本機は内蔵メモリーに約 45 枚の静止画を保存できますが、メモリーカードを使用すると、より多くの画像を保存できます。また、ファームウェアのバージョンアップを行うときはメモリーカードが必要です。あらかじめメモリーカードをご用意ください。

### メモリーカードについての注意

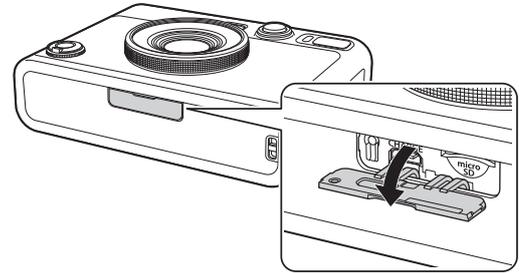
- このカメラに対応しているメモリーカードは micro SD カードまたは micro SDHC カードです。指定以外のメモリーカードをご使用になると、カメラの故障の原因になります。
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このようなときはいったん電源を切ってから、電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどにメモリーカードを入れないでください。座ったときに大きな力が加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間ご使用になった後、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにラベルなどを貼らないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。

### メモリーカードを PC で使用する場合の注意

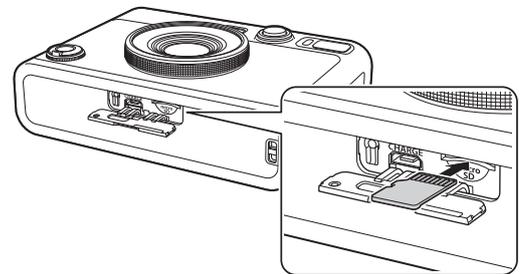
- 未使用のメモリーカードや、PC やその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。
- メモリーカードをカメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。PC でメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードをカメラで使用できなくなることがあります。
- メモリーカード内の画像の消去は PC で行わないでください。必ずカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

## メモリーカードを入れる

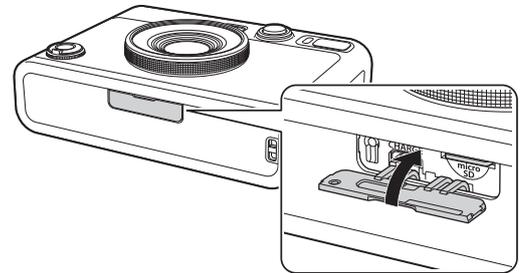
### 1 カードスロットカバーを開ける



### 2 図のように正しい向きで、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを奥まで差し込む



### 3 カードスロットカバーを閉じる



- メモリーカードを取り出すときは、メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を戻してください。ロックが外れて、取り出すことができます。

メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に離すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに離してください。

## 撮影メニューを使用する

撮影メニューから撮影に関する各種設定の変更ができます。

### 1 撮影画面で、[MENU/OK] を押す

撮影メニューが表示されます。



### 2 ◀または▶を押して、項目を選ぶ

・各項目については「撮影メニューの項目」を参照してください。

### 3 設定を変更する

### 4 [MENU/OK] を押す

設定が反映され、撮影画面に戻ります。

## ■撮影メニューの項目

### 【顔検出】

顔検出を ON にすると、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。

### 【AF 補助光】

ON を選ぶと、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間 AF 補助光が発光し、暗い被写体のピントを合わせやすくします。

- ・シーンによっては、AF 補助光を発光してもピントが合いづらいことがあります。
- ・被写体に近づいた撮影では、AF 補助光の効果が十分に得られない場合があります。
- ・人の目に近づけて発光させないでください。

### 【Bluetooth 設定】

ペアリング登録する前に、ご使用のスマートフォンにスマートフォンアプリをインストールしてください。

### 【ペアリング登録】：

お使いのスマートフォンと初めて Bluetooth で接続する場合は、機器同士をペアリングする必要があります。ペアリングは以下の手順を参考にしてください。

1. 撮影メニュー、または再生メニューから [Bluetooth 設定] を選ぶ
2. [ペアリング登録] を選び、[MENU/OK] を押す

3. スマートフォンアプリの [SETTINGS] を押す
4. スマートフォンアプリの [Bluetooth 設定] を押す
5. スマートフォンアプリの [接続] を押す
6. ペアリングを許可する

### 【ペアリング削除】：

ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。

### 【情報表示】：

本体の Bluetooth アドレスや名称、ペアリング登録端末の情報を表示します。

### 【プリント画質モード】

従来画質の [instax-Natural モード]、または色彩表現が豊かな [instax-Rich モード] (工場出荷時の設定) に設定します。

### 【プリント明るさ設定】

[× 1.0 (標準)]、[× 1.5 (やや明るい)] または [× 2.0 (明るい)] を設定します。

### 【日時設定】

日付と時刻を設定します。

### 【日付書き込み】

画像に日付を書き込みます。画像に書き込まれた日付を消したい場合は、[OFF] に設定します。

### 【言語 /LANG.】

液晶モニターに表示する言語を設定します。

### 【音量設定】

操作音、シャッター音量、起動音の音量を設定します。音を消したい場合は、[OFF] に設定します。

### 【自動電源 OFF】

カメラを操作しなかったときに、自動で電源が切れるまでの時間を設定します。

### 【リセット】

設定値を工場出荷時の設定に戻します。

日時設定で設定した日付と時刻はリセットされません。

### 【フォーマット】

カメラ内蔵のメモリー、またはカードスロットに挿入されているメモリーカードを初期化します。保存されている画像はすべて削除されます。

### 【バージョンアップ】

ファームウェアのバージョンアップを行います。ファームウェアをバージョンアップする方法は以下の 2 通りがあります。ファームウェアのバージョンアップを行うときはメモリーカードが必要です。あらかじめメモリーカードをご用意ください。

### ●スマートフォンアプリ「instax mini Evo」から行う

1. メモリーカードをカメラのカードスロットに挿入する
2. スマートフォンアプリ「instax mini Evo」を起動する
3. 「instax mini Evo」の [SETTINGS] をタップする

4. 「instax mini Evo」の「本体のバージョンアップ確認」をタップする
5. 画面の指示に従って操作する

#### ●カメラ本体から行う

1. PCなどで富士フィルムのウェブサイトから最新のファームウェア (FPUPDATE.DAT) をダウンロードして、メモリーカードのルートディレクトリーにコピーする
2. ファームウェアをコピーしたメモリーカードをカメラのカードスロットに挿入する
3. 撮影メニュー、または再生メニューから「バージョンアップ」を選ぶ
4. 画面の指示に従って操作する

## 再生メニューを使用する

再生メニューから再生に関する各種設定の変更ができます。

### 1 再生画面で、[MENU/OK] を押す

再生メニューが表示されます。



### 2 ◀または▶を押して、項目を選ぶ

各項目については「再生メニューの項目」を参照してください。

### 3 設定を変更する

### 4 [MENU/OK] を押す

設定が反映され、元の画面に戻ります。

#### ■再生メニューの項目

##### 【消去】

画像を 1 コマずつ消去したり、全コマまとめて消去します。

##### 【画像回転】

画像を 90 度単位で回転して表示します。

##### 【画像コピー】

画像を内蔵メモリーからメモリーカードへ、またはメモリーカードから内蔵メモリーにコピーします。

以下の手順で行います。

1. 再生メニューから「画像コピー」を選ぶ
2. コピー先を選び、[MENU/OK] を押す
3. [1 コマ] または [全コマ] を選び、[MENU/OK] を押す

[全コマ] を選んだ場合は、コピーが開始されます。[1 コマ] を選んだ場合は、手順 4 に進みます。

4. ▶または▶を押して、コピーする画像を選ぶ
5. ▶または▶を押して、「コピーする」を選ぶ
6. [MENU/OK] を押す

##### 【プリント履歴】

- 過去にプリントした画像を最大 50 枚まで表示します。
- 画像を選び、プリントレバーを回すと、プリントを開始します。
- [MENU/OK] を押すと、プリント履歴を 1 コマずつ消去できます。

##### 【プリント画像転送】

カメラでプリントした画像をスマートフォンアプリに送信すると、スマートフォン内に instax フレーム付き画像として保存できます。

以下項目については「撮影メニューを使用する」にある同項目を参照してください。(p.10)

[Bluetooth 設定] / [プリント画質モード] / [プリント明るさ設定] / [日時設定] / [日付書き込み] / [言語 / LANG.] / [音量設定] / [自動電源 OFF] / [リセット] / [フォーマット] / [バージョンアップ]

## スマートフォンアプリ連携で使える機能

スマートフォンアプリ「instax mini Evo」と連携すると以下機能が使用できます。



### ダイレクトプリント機能

スマートフォン内の画像をカメラ本体に送信して instax プリントすることができます。送信前に、スマートフォンアプリで画像の移動や回転、拡大縮小ができます。

### リモートシューティング機能

フラッシュやセルフタイマーをスマートフォンアプリで設定して、リモート撮影できます。

### プリント画像保存機能

カメラでプリントした画像をスマートフォンアプリに送信すると、スマートフォン内に instax フレーム付き画像として保存できます。

## 仕様

### ■カメラ機能

撮像素子	1/5 型 CMOS 原色フィルター
記録画素数	2560 × 1920 ピクセル
記録メディア	内蔵メモリー、microSD/microSDHC メモリーカード
記録枚数	内蔵メモリー約 45 枚、microSD/microSDHC メモリーカード 1GB あたり約 850 枚
記録方式	DCF 準拠 Exif Ver 2.3
焦点距離	f= 28 mm (35 mm フィルム換算)
絞り	F2.0
オートフォーカス	シングル AF (AF 補助光付)
撮影可能距離	10 cm ~ ∞
シャッタースピード	1/4 秒 ~ 1/8000 秒 (自動切替)
撮影感度	ISO100 ~ 1600 (自動切替)
露出制御	プログラム AE
露出補正	- 2.0 EV ~ + 2.0 EV (1/3 EV ステップ)
測光方式	TTL256 分割測光、マルチ測光
ホワイトバランス	AUTO、晴れ、日陰、蛍光灯 1、蛍光灯 2、蛍光灯 3、電球
フラッシュ	オートフラッシュ / 強制発光 / 発光禁止 撮影可能範囲 約 50 cm ~ 1.5 m
セルフタイマー	約 2 秒 / 約 10 秒
画像エフェクト	レンズエフェクト 10 種、フィルムエフェクト 10 種 上記かけ合わせ計 100 種

### ■プリント機能

露光画素数	1600 × 600 ドット (スマートフォンアプリからの印刷時は、800 × 600 ドット)
露光解像度	25 ドット / mm × 12.5 ドット / mm (635 × 318 dpi、40 × 80 μm ドットピッチ) スマートフォンアプリからの印刷時は、12.5 ドット / mm (318 dpi、80 μm ドットピッチ)

露光階調	RGB 各色 256 階調
インターフェース	準拠規格: Bluetooth Ver.4.2 (BLE)
プリント可能画像フォーマット	本機で撮影した JPEG 画像
プリント出力時間	約 16 秒 * 起動直後に instax-Rich モードを使用して印刷する場合は、約 7 秒加算されます。
プリント機能	内蔵メモリー内の画像+メモリーカード内の画像をプリント可能
リプリント	プリント履歴に保存されている画像 (50 枚まで) について、再プリント可能

## ■ その他

スマートフォンアプリ連携機能	スマートフォン画像プリント機能、リモート撮影機能、プリント画像転送機能、バージョンアップ機能
液晶モニター	3.0 型 TFT カラー液晶モニター 画素数: 約 46 万ドット
外部インターフェース	マイクロ USB Micro-B (充電専用)
電源	リチウムイオン電池 (内蔵型: 取り外し不可)
充電機能	内蔵
プリント可能枚数	約 100 枚 (フル充電から) * 使用条件によりプリント枚数は異なります。
充電時間	約 2 ~ 3 時間 * 気温によって異なります。
本体外形寸法	87 mm × 122.9 mm × 36 mm (突起部除く)
本体質量	約 285g
動作環境	温度: 5℃ ~ 40℃ 湿度: 20% ~ 80% (結露しないこと)
使用フィルム	富士フィルム インスタントフィルム instax mini (別売)

\* 上記の仕様は、性能向上のため変更する場合があります。

## このようなときは

故障とお考えになる前に、以下の項目をお調べください。処置を行っても改善されない場合は、弊社サービスセンターに修理をご依頼ください。

または下記のウェブサイトアクセスしてください。

富士フィルムホームページ: <https://fujifilm.com/jp>

### 使用中このようなときは…

このようなときは	考えられる原因と対処法
電源が入らない。	バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。
バッテリーの消耗が早い。	非常に寒い所でカメラを使用していると、バッテリーの消耗が早くなります。撮影前にカメラを温かくしておいてください。
使用中に電源が切れた。	バッテリー残量が少なくなっている可能性があります。カメラを充電してください。
充電が始まらない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• USB 電源アダプタのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。</li> <li>• 充電をするときは電源を切ってください。電源が入った状態では充電されません。</li> </ul>
充電に時間が掛かりすぎる。	低温時は、充電に時間が掛かる場合があります。
充電中にセルフタイマーランプが点滅する。	周囲の温度が +5℃ ~ +40℃ の範囲で充電してください。この範囲でも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。
シャッターボタンを押しても撮影できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 電源が入っているか確認してください。</li> <li>• バッテリー残量が少なくなっている場合は、充電してください。</li> <li>• 内蔵メモリーまたはメモリーカードがいっぱいになっている場合は、新しいメモリーカードを入れるか、不要な画像を削除してください。</li> <li>• 本機でフォーマットしたメモリーカードを使用してください。</li> <li>• メモリーカードの接触面 (金色の部分) が汚れている場合は乾いた柔らかい布でふいてください。</li> <li>• メモリーカードが壊れている可能性があります。新品のメモリーカードを入れてください。</li> </ul>
ピントが合わせられない。	ピントが合いにくい被写体を撮影する場合は、AF/AE ロックを使用して撮影してください。

このようなときは	考えられる原因と対処法
フラッシュが発光しない。	フラッシュの設定で発光禁止が選ばれていませんか。発光禁止以外の設定を選んでください。
フラッシュが発光したのに、画像が暗い。	<ul style="list-style-type: none"> <li>被写体から離れすぎていませんか。フラッシュ撮影が可能な距離内で撮影してください。</li> <li>フラッシュを指などで塞がないよう、カメラを正しく構えてください。</li> </ul>
画像がぼやけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>レンズに指紋などの汚れが付いている場合は、レンズを清掃してください。</li> <li>AF フレームが緑色になっていることを確認して撮影してください。</li> </ul>
カメラが正常に作動しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一時的に誤作動を起こしている可能性があります。リセットボタンを押してください。それでも正常に作動しない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。</li> <li>バッテリーが消耗している可能性があります。カメラを充電してください。</li> </ul>
フィルムパックが入らない、またはスムーズに入らない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>富士フィルム インスタントフィルム "instax mini" を使用してください（他のフィルムは使用できません）。</li> <li>フィルムパックの黄色のマークとカメラの位置合わせマーク（黄色）を合わせて入れてください。</li> </ul>
フィルムが排出されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>振動や落下などの衝撃で、フィルムがずれている可能性があります。新しいフィルムパックを入れてください。</li> <li>フィルムが詰まっている場合は電源を入れ直してください。それでも改善されない場合は、詰まったフィルムを取り除いてから、新しいフィルムパックを入れてください。</li> </ul>
出来上がったプリントの一部または全部が白くなっている。	フィルムを使い切るまで、フィルムドアを開けないでください。フィルムが残っている状態でフィルムドアを開けるとフィルムが感光して、感光した部分が白くなります。
プリントにむらがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>プリントされた直後にプリントを振る、曲げる、折る、押さえるなどしないでください。</li> <li>フィルム排出口を塞がないでください。</li> </ul>

## 安全にご使用いただくために

- この製品および付属品は、写真撮影・プリント以外の目的に使用しないでください。
- 製品の安全性には十分配慮しておりますが、下記の内容をよくお読みの上、正しくご使用ください。
- この説明書はお読みになった後で、いつでも見られるところに必ず保管してください。

### ⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

### ⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

### ⚠ 警告

- △以下のような場合は、直ちに USB ケーブルを外すとともに、電源を切ってカメラの使用を止めてください。
  - カメラが熱くなる、煙が出る、焦げ臭いなどの異常が発生したとき
  - カメラを水中に落としたり、内部に水、または金属などの異物が入ったとき
- △カメラにはバッテリーが組み込まれているので、加熱や火中への投入、落としたり、衝撃を加えないでください。破裂の原因となることがあります。

### ⚠ 注意

- △絶対に分解しないでください。けがの原因となることがあります。
- △故障した場合は、絶対に自分で修理しようとせずにお買い上げ店にご相談ください。
- △落下などにより内部が露出したときは、絶対に触れないでください。けがの原因となることがあります。
- △フィルムドア内部の部品、突起物には触れないでください。けがや故障の原因となることがあります。
- △カメラをぬれた手で触らないでください。感電の原因となることがあります。
- △充電が完了したら速やかに USB ケーブルを外してください。
- △小さいお子様の手の届くところに置かないでください。けがの原因になることがあります。
- △本製品を布や布団でおおったりしないでください。熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



このマークは、安全性、衛生、環境及び消費者保護に関するEU（欧州連合）の要求事項を、製品が満足していることを証明するものです。（CEとはヨーロッパ認定（Conformité Européenne）の略）

## 取扱上のお願ひ

### ■ 機器及び電池の取り扱い上の注意

- 直射日光の強い場所や火気の近くで使用したり、放置したりして、過度の熱にさらさないでください。熱のダメージにより、使用、保管、輸送中、または廃棄時に破裂、または引火性液体やガス漏れの原因となることがあります。
- 火中や焼却炉などに廃棄したり、または機械的に押しつぶしたり、切断はしないでください。破裂の原因となる事があります。
- 可燃性の液体や、引火性の高いガスの傍に放置しないで下さい。破裂の原因となる事があります。
- 高所地域等の極端に気圧の低い場所に放置しないで下さい。破裂、または引火性液体やガス漏れの原因となることがあります。

### ■ カメラの取り扱い

1. フィルムを使い切るまでは、フィルムドアを開けないでください。途中で開けると、フィルムが感光して白くなり、写真が写りません。
2. カメラは精密機械ですから、水にぬらしたり、落としたりしてショックを与えないでください。また、砂の掛かりやすいところには置かないでください。
3. 市販のストラップをご使用になる場合は、ストラップの強度をご確認の上、ご使用ください。携帯電話、PHS用ストラップは軽量機器用ですので、ご使用の際は特にご注意ください。
4. 汚れをふき取るのにシンナー、アルコールなどの溶剤は使用しないでください。
5. 閉め切った自動車の中や、高温の場所、湿気のある場所、海岸などに長時間放置しないでください。
6. ナフタリンなど防虫剤のガスは、カメラにもフィルムにも有害ですから、たんすなどへの収納は避けてください。
7. このカメラの使用温度範囲は+ 5℃から+ 40℃です。
8. プリントされる場合は、著作権、肖像権、プライバシーなどの他人の権利を侵害したり、公序良俗に反したりしないように十分にご配慮ください。他人の権利を侵害する行為、公序良俗に反する行為や迷惑行為は、法令による処罰の対象や損害賠償請求の対象となります。

### ■ 液晶モニターの取り扱い

液晶モニターは傷がつきやすいので、硬いものでこすらないように注意してください。傷を防止するために、市販の保護シートを貼ることをお勧めします。

### ■ 充電について

バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

- 付属のUSBケーブルを使用して充電できます。
  - 充電は周囲の温度が+ 5℃～+ 40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
  - + 10℃～+ 35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなることがあります。充電は+ 10℃～+ 35℃の温度範囲で行ってください。

### ■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約300回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。

### ■ 使用上のご注意

長時間使用していると、カメラ本体が熱を帯びますが、故障ではありません。

### ■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

VCCI-B

### ■ 本製品が取得している認証関連のマークは、フィルムバック室内に表示されています。

### ■ 印刷中の注意事項



プリント中にカメラを振らない



プリント中にカメラを落とさない



プリント中にフィルム排出口を塞がない

### ■ フィルム、プリントの取り扱い

フィルム、プリントの取扱いについては、富士フィルムインスタントフィルム "instax mini" の取扱説明書を参照してください。

1. フィルムは、涼しい場所に保管してください。特に閉め切った自動車の中などの極端に高温の場所に長時間放置しないでください。
2. フィルムに穴をあけたり、破いたり、切ったりしないでください。フィルムが損傷した場合は、使用しないでください。
3. カメラに入れたフィルムは、できるだけ早くプリントしてください。

4. フィルムを極端に温度の低い場所や高い場所に置いてしまった場合は、通常の温度になじんでからプリントしてください。
5. フィルムは有効期限内にお使いください。
6. 空港の預け入れ荷物検査などでの強いX線照射を避けてください。未使用のフィルムにカブリなどの影響が出ることがあります。手荷物としての機内持ち込みをお勧めします(詳しくは各空港でご確認ください)。
7. プリントは強い光を避け、涼しく乾燥した場所に保存してください。
8. このフィルムの中には黒色苛性アルカリのペーストが入っていますので、切ったり分解しないでください。特に乳幼児やペットが口に入れないよう注意してください。また、ペーストが皮ふや衣服につかないようにしてください。
9. 誤って未使用フィルムのペーストにふれたときは、速やかに水で十分に洗ってください。また、目や口に入った場合は、洗った後に医師の診断を受けてください。なお、このフィルムは、カメラなどから出してから約10分間でアルカリ性が弱まります。

■ **フィルムや出来上がった写真を取り扱うときの注意**

詳細は、富士フィルム インスタントフィルム "instax mini" の取扱説明を参照してください。



**Bluetooth® 機器使用上の注意事項**

**重要！** 本製品に搭載されている Bluetooth をご使用になる前に必ずお読みください。

■ **本製品は Bluetooth 機器としてお使いください。**

Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。Bluetooth 機器よりも高い信頼性

が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ **Bluetooth 機能はお買い求めいただいた国での利用を前提としています。**

本製品の Bluetooth 機能はお買い求めいただいた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使いいただく国の法律を順守してください。お買い求めいただいた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

電波によるデータ(画像)の送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ **磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。**

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください(環境により電波が届かないことがあります)。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ **使用周波数帯**

本製品の使用周波数は 2.4GHz 帯です。定格出力は 3.16mW となります。

■ **本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。**

- ・産業・科学・医療用機器
- ・工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
- 1. 構内無線局(免許を要する無線局)
- 2. 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

■ **本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。**

無線局が運用されていないことを確認してください。本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

■ **次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。**

- ・本製品を分解、または改造すること
- ・本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ **商標について**

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フィルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

■ **本機の無線方式について**

**2.4 FH 1**

**2.4** : 2.4GHz 帯を使用する無線設備

**FH** : 変調方式は周波数ホッピング (FH-SS 方式)

**1** : 想定干渉距離が 10m 以内

■■■■■■■■■■ : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可

## アフターサービスについて

お手持ちの製品が故障した場合には、次の要領で修理させていただきます。

ご購入店または富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお申し出ください。

それ以外の責は、ご容赦いただけます。なお、保証、使い方などのご不明な点につきましても、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口をご利用ください。

### ■ 無料修理

故障した製品についてはご購入年月日、購入店名の記入された、ご購入日より1年以内の保証書が添付されている場合には、保証書に記載されている内容の範囲内で、無料修理させていただきます。

\*詳しくは、製品保証規定をご覧ください。

### ■ 有料修理

保証期間を過ぎた修理は、原則として有料となります。保証期間内であっても、製品保証規定の「2.」の場合はすべて有料となります。また運賃諸掛かりは、お客様にてご負担願います。

### ■ 修理不能

浸(冠)水、強度の衝撃、その他で損傷がひどく、故障前の性能に復元できないと思われるもの、および部品の手当てが困難なものなどは修理できない場合もありますので、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

### ■ 修理部品の保有期間

この製品の補修用部品は、製造打ち切り後5年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

### ■ 修理ご依頼に際してのご注意

1. 保証規定による修理をお申し出になる場合には、必ず保証書を添えてください。
2. ご購入店や弊社サービスステーションで、ご指定の修理箇所、故障内容を詳しくご説明ください。故障の状態によっては、事故となったフィルムなどを添えてくださると修理作業の参考になります。
3. 修理箇所のご指定がないときは、弊社では各部点検をはじめ品質、性能上必要と思われるすべての箇所を修理しますので、料金が高くなることがあります。
4. 修理に関係のない付属品類は、紛失などの事故を避けるため、修理品から取り外してお手もとに保管してください。
5. 修理のために製品を郵送される場合は、ご購入時の外箱などに入れてしっかり包装し、必ず書留小包でお送りください。
6. 修理期間は故障内容により多少異なりますが、普通修理品の場合は弊社サービスステーションで、お預かりしてから通常7～10日位をご予定ください。

### ■ 海外旅行中の故障

本製品の保証書は国内に限り有効です。万一、海外旅行中に故障や不具合が生じた場合は、帰国された後、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口にお問い合わせください。

## 個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口あるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

●本製品に関するお問い合わせ

富士フィルム フィルムカメラお客さま相談窓口

 0570-04-1640 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、

03-6625-2813 におかけください。

受付時間：月曜日～金曜日 10：00～17：00（土日祝日、夏季休業日、年末年始を除く）

●修理に関するお問い合わせ

富士フィルム フィルムカメラ修理相談窓口

 0570-06-6092 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、

03-6625-2814 におかけください。

受付時間：月曜日～金曜日 9：30～17：30（土日祝日、年末年始を除く）

▶各窓口の受付時間・サービス内容は、予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

▶富士フィルムグループでは、お客さまからのお問い合わせ内容を正確に把握するために録音させていただいております。

▶修理品を持参または送付される場合は、下記サイトをご覧ください。

<https://www.fujifilm.com/jp/ja/consumer/support/filmcameras/repairservice>

●本製品以外の富士フィルム製品のお問い合わせ先

富士フィルム お客様コミュニケーションセンター

 0570-04-1711 (ナビダイヤル)

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、

03-6625-2811 におかけください。

受付時間：月曜日～金曜日 10：00～17：00（土日祝日、夏季休業日、年末年始を除く）

\*各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

富士フィルムホームページ：<https://www.fujifilm.com/jp/ja>

# FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN